

労働者魂を發揮して闘おう

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！
大会で選出された新執行部（中野委員長、水野副委員長、山口副委員長、布施書記長、西森・吉岡・片岡執行委員）を代表して、決意とあいさつをのべる中野委員長。〔第8回定期大会、1983年10月6日、千葉グランドホテル〕



就任にあたって 執行委員長 中野 洋

~~~~~

動労千葉第八回定期大会は、「戦後政治の総決算」を叫んで戦争への道を突き進む反動中曽根体制と対決し、「国鉄・三里塚を基軸に闘う労働運動」の全国的拡大・強化を勝ちとり、総反撃にうつっての方針を満場一致で決定しました。  
とりわけ、関川前委員長に変わる中野委員長を先頭とする新執行体制を確立し、新生「動労千葉丸」が力強く船出しました。  
今大会で成立した新役員体制を代表して、中野委員長の決意を紹介します。

~~~~~

組合員・家族の負託と全国の仲間への期待に応え、全力で前進する

この間、各支部の支部長さん達も含めての役員選考委員会で、関川体制のあとをどうしたらいいのか御検討いただきまして、お前がやれという話しになり、私を含め執行委員・会計監査計十名が先程皆様方のご信任をいただきました。

先程、関川前委員長のお話しにありましたが、勝浦大会で関川委員長とペアを組む書記長として、当時の動労千葉地本の三役入りをしたわけです。以来、関川―中野体制ということで十年間やってきました。いわば関川委員長を船長とする「動労千葉丸」の操縦士としてやってきたわけです。非常に厳しい闘いをやりぬいたけれど千三百の力と全国の支援の力を得て大きな成果をあげながら、順風満帆で進んできた船だと思っています。

いま私達が、

志も新たに乗り継ぐわけですが、周知の通り、世界も日本も国鉄も海は今荒浪の大しけです。これまでの十年間勝ち進んできた「関川丸」を絶対に沈没させないよう、全組合員、家族の負託にこたえ、また動労千葉を支援する反対同盟をはじめとする全国の闘う仲間達の期待を絶対に裏切らないよう

な動労千葉として、さらにみがきをかけ、この苦難の道を一三〇〇名の組合員の力を一つにして、全力をあげて突き進んでいきたいと思っています。

新体制の初陣「10・9」に全力決起する

新執行部は明日、執行委員会を開催して任務分担をはかると同時に、全執行部が直ちに全職場に出向き、当面する「10・9三里塚闘争」に新体制の初仕事として全力決起していききたいと思っています。これが新たな動労千葉の将来を決する闘いになるうかと思っています。そして、この闘いの勝利の余勢をかつて、今秋から来春にむかっつての反戦・三里塚、国鉄反合の闘いを全力で闘いぬきたい。

我々は、三里塚二期強行を突破口に歯止めをはずした軍事大国化・改憲の道に走る反動中曽根に断固対決して、これをうち倒さなければならぬ。そして何よりも、今われわれ国鉄労働者にかかれてきている理不尽な攻撃に対して、それにはいつくばりこうべを垂れるのではなくて、こういうときにこそ労働者魂を發揮し、「中曽根よ、お前のいう通りならんぞ」という労働者の力を見せつける闘いを展開していききたいと思っています。

その意味で、日本労働運動の全体を見わたし、リードする観点で、全国に積極的に出ていき、全国の国鉄労働者に呼びかけ、何よりも国鉄労働者の共通の敵である動労「本部」革マルを打倒し、当局と同時に串刺しにする闘いを絶対やりぬいていきたい。

そういう決意をこめて新執行部は船出したいと思ひますので、本日結集された代議員、家族、そして現場で苦闘している組合員の皆さんの全面的な御支援、御協力をお願いして就任のあいさつとさせていただきます。

（一九八三年十月六日、第八回定期大会での新役員体制を代表してのあいさつより）